

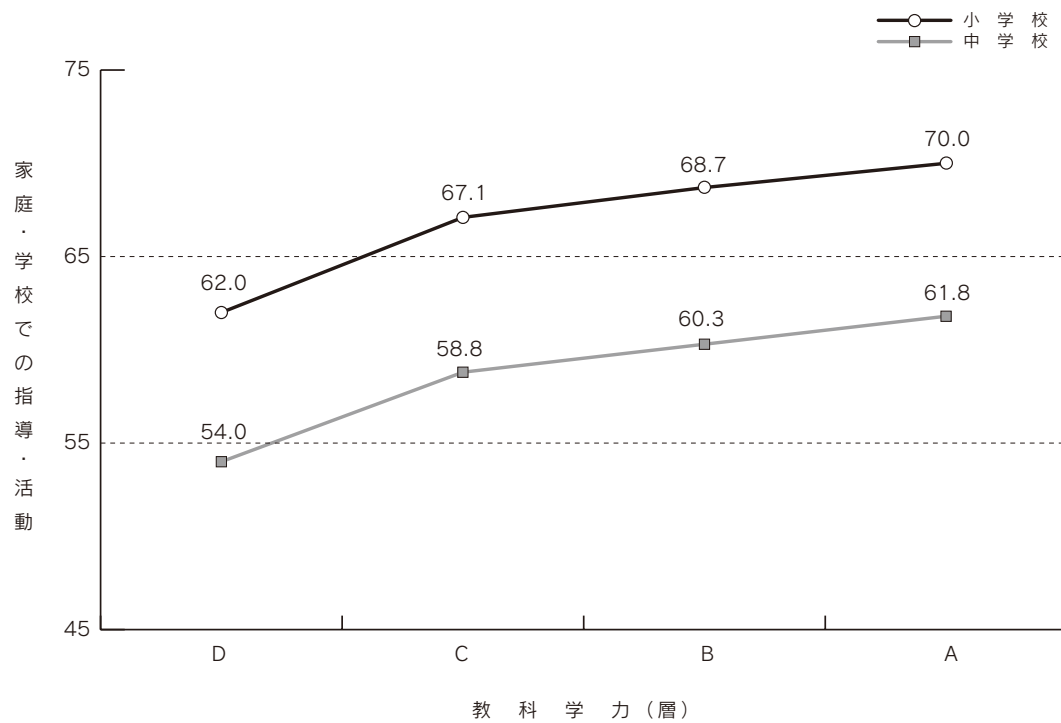
## 2 学習意識調査結果と学習到達度調査結果の関係

子どもたちの学力向上には、授業内容をよく理解することはもちろんですが、学習への動機付けや基本的な生活習慣の定着、家庭での親子の対話、豊かな生活体験なども重要な要素となっています。

- 教科学力(層)は大分県(小5、中2)の受検者全体を成績順に上位から4分の1ずつ4つに分け、それぞれをA層、B層、C層、D層としている。
- 「肯定的な回答」とは「よくする」「ときどきする」、「とてもあてはまる」「まああてはまる」など各設問に対して肯定的な選択肢を選択した児童生徒の割合を表している。

質問	肯定的な回答した児童の割合(%)					中学校				
	A層	B層	C層	D層	A-D	A層	B層	C層	D層	A-D
学校に行くのが楽しい。	85.3	81.8	79.1	70.9	14.4	81.5	78.5	73.6	68.6	12.9
朝食は家族と一緒に食べている。	75.4	70.3	68.4	65.1	10.3	60.7	57.1	53.0	46.6	14.1
習い事やスポーツ、学習などで自分が立てた目標を達成できるように家族が応援してくれる。	80.5	77.8	74.9	67.4	13.1	81.4	77.4	73.2	60.6	20.8
早寝早起きなど、規則正しく生活するように、言われている。	86.5	83.2	80.0	72.4	14.1	80.9	76.7	73.1	65.3	15.6
テレビのニュースや新聞などで、最近の社会のできごとをよく知っている。	72.0	63.5	56.7	47.6	24.4	66.3	64.5	59.9	52.1	14.2
学習して身につけた知識は、いずれ仕事や生活の中で役に立つと思う。	95.5	93.1	91.0	83.0	12.5	82.2	79.4	76.6	71.0	11.2
すべての項目の平均	70.0	68.7	67.1	62.0	8.0	61.8	60.3	58.8	54.0	7.8

### 家庭・学校での指導・活動と教科学力の関係



### コメント

○家庭での「児童生徒の目標達成に対する応援」や「規則正しい生活習慣づくり」が教科学力にプラスとなる傾向が見られます。また、「社会の出来事をよく知っている」児童生徒や「身に付けた知識が将来役立つ」と思っている児童生徒の方が教科学力が高い傾向にあります。

※詳しくは、大分県教育委員会HPに掲載していますので、ご覧ください。